

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号  
三菱UFJリース株式会社  
取締役社長 柳井隆博  
(コード番号 8593 東証・名証第1部)  
お問合せ先  
コーポレートコミュニケーション部長 長谷川 太郎  
TEL 03-6865-3002

## 英国における洋上風力発電所向けの海底送電事業への参画について

三菱UFJリース株式会社（以下、「当社」）は、英国東部北海沖合の洋上風力発電所向けの海底送電事業（以下、「本事業」）に出資参画しましたので、お知らせいたします。

本事業は、世界最大の Hornsea One 洋上風力発電所（発電容量：1,218MW）と陸上を繋ぐ、総延長 160km の海底送電線等を保有・運転・管理し、英国規制当局から取得した事業運営権に基づき、送電を行う事業です。

当社は、英国のインフラ関連投資子会社 MUL Infrastructure UK Limited（以下、「MIUK」）を通じて、三菱商事株式会社の英国送電事業子会社 Diamond Transmission Corporation Limited（以下、「DTC」）から、本事業持分の 31%を取得しました。当社の欧州における送電の取り組みは、2017年7月に参画したドイツにおける洋上風力発電所向け海底送電事業に続いて、本事業が2件目となります。

英国政府は 2030 年までに総発電容量 40GW の洋上風力発電を導入する目標を掲げており、海底送電も洋上風力の普及を支える基幹インフラとして、更なる導入拡大が見込まれています。当社は、2020年4月に策定した中期経営計画～Sustainable Growth 2030～において、注力分野に「再生可能エネルギー分野」および「社会資本分野」を位置付け、再生可能エネルギー発電や海底送電などの取り組みを推進しています。本事業は、グリーン電力の送電を通じて、脱炭素社会の実現と社会インフラ整備の両面に資する取り組みとなります。

当社は、今後もこれらの事業への参画を通じて得られたノウハウ・経験を活かしながら、再生可能エネルギー関連の取り組みをより一層強化することで、グローバル規模での持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以上

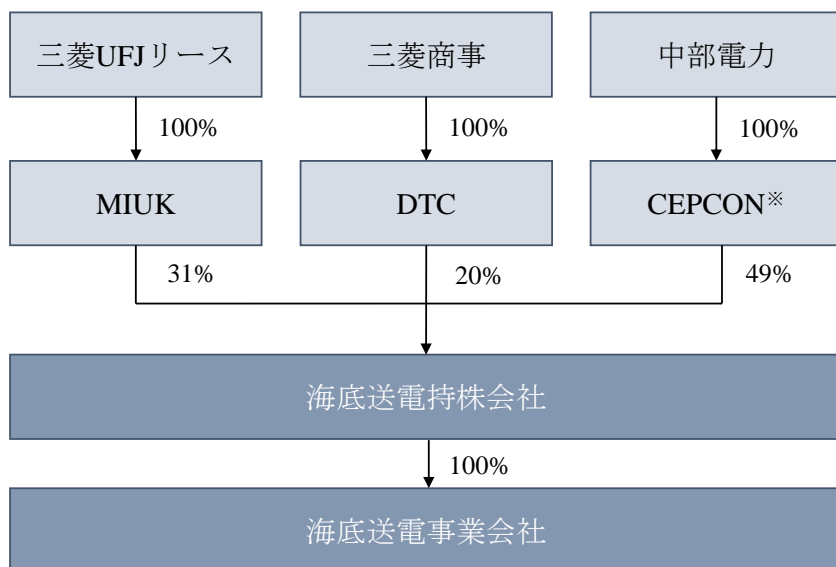
【本事業の概要】

事業概要	英国東部沖合約 120km に位置する Hornsea One 洋上風力発電所と陸上を繋ぐ送電設備の保有・運転・管理
対象資産	総延長 160km の海底・陸上送電線および洋上・陸上変電設備等
資産規模	約 1,700 億円
送電容量	1,218MW

＜本事業の洋上変電設備＞



【出資スキーム】



※CEPCON：中部電力株式会社の100%子会社であるChubu Electric Power Company Netherlands B.V.